

ヤコブ——からだの生活のために、造り変えの過程を通して命の中で円熟し、
命の中で王として支配することの模範

聖書：創 28:10-22. 32:28. 47:7. ローマ 5:17, 21. 8:28-29. 9:10-13. 12:1-2

- I. ローマ人への手紙と創世記がヤコブの事例を用いて見せている啓示とは、父なる神が人を愛し選び、霊なる神がすべてのことで働いて、彼の愛する者に益を得させ、人を造り変え、人を神聖な命の中で円熟させ、人がすべての民を祝福し、全地を支配し、命の供給としての子なる神をもって、すべての民を満足させることができるということです——マラキ 1:2. ローマ 9:10-13. 創 25:22-23. エペソ 1:4. 創 27:41. 28:1 — 35:10. 第 37 章. 第 39 章—第 49 章. ローマ 8:28-29。
- II. ヤコブの経験は、ベテル（神の家）の夢によって支配されています——創 28:10-22：
- A. ヤコブの夢は、神の目標の夢、ベテルの夢、神の家の夢でした。神の家は、からだの生活としての今日の召会であり（I テモテ 3:15. ローマ 12:1-2）、召会は神と彼の贖われた選民の永遠の住まいとして、新エルサレムにおいて究極的に完成します（啓 21:3, 22）。
- B. キリストは彼の人性において結合するはしごとなり、天（神）と地（人）を結合して一にしました——創 28:12-17. ヨハネ 1:1, 51。
- C. わたしたちの人の霊も神の住まいです。わたしたちは霊に戻るときはいつも、キリストが神（天）をわたしたちにもたらし、わたしたちを神（天）に結合することを感じます。こうして、天のはしごとしてのキリストは、神をわたしたちにもたらし、わたしたちを神に結合する階段です——14:6. エペソ 2:22. ヘブル 4:16。
- III. イスラエルは「神と組み討ちする者」（創 32:28）、また「神の王子」を意味します。クリスチャン生活は、神と組み討ちして神によって造り変えられ、神の王子となる生活です——参照、ピリピ 4:5-7, 11-13：
- A. 造り変えは、信者たちの中での神の命の新陳代謝的な作用であり、キリストの神聖な命の要素をわたしたちの存在の中に加えることによって、キリストのかたちを外側で表現することです——II コリント 3:18. ローマ 12:1-2。
- B. イサク、リベカ、エサウが用いられて、ヤコブを造り変えの「オープン」に入れ、ラバンとヤコブの妻たちはそのオープンの中で燃える「火」でした。ヤコブの歴史が見せているのは、神が主権をもって彼の選ばれた者の環境の各面を案配し、彼らの内側で彼の造り変えの働きを完成することができたということです——8:28-30。
- IV. クリスチャン生活は、一の唯一の立場にあって、キリストのからだの実際のために召会生活の中で、日ごとに造り変えられる生活です（12:2）。これが正常な召会生活のための正常なクリスチャン生活であり、以下の各面があります：
- A. 「日ごとに」——II コリント 4:16. 詩 68:19。
- B. 「いよいよ輝きを増し」——箴 4:18。
- C. 「朝ごとに」——イザヤ 50:4。
- D. 「栄光から栄光へ」——II コリント 3:18。
- E. 「力から力へと」——詩 84:7。
- F. 「恵みの上にさらに恵み」——ヨハネ 1:16。
- G. 「ここに少し、あそこに少し」——イザヤ 28:13。

H. 「一人ずつ」—— I コリント 14:31。

I. 「家から家」——使徒 20:20。

V. 「神を愛する者……には、すべてが共に働いて益となる」——ローマ 8:28 :

A. この益は、物質の人、事、物と関係があるのではありません。ただひとりの方が益であり、それは神です——ルカ 18:19。

B. わたしたちと関係があるすべての人、すべての事、すべての物は、聖霊がわたしたちの益のために働く手段であり、わたしたちに善きもの（詩 68:19 前半）、すなわち三一の神ご自身を積み込むことができます（参照、創 45:5. 50:20）。

C. わたしたちと関係があるすべての人とすべての状況は、神の霊によって案配されており、わたしたちの内側での彼の働きに符合し、わたしたちが造り変えられ、神の長子のかたちに同形化されるようにします——マタイ 10:29-31. ローマ 8:28-29。

VI. 「モアブは若い時から安らかであった。彼は酒の澱の上にとどまって、器から器へあけられたことがなく、捕らえられて行ったこともなかった。それゆえ、彼の味は彼の中に残り、彼のにおいは変わっていない」——エレミヤ 48:11. ヘブル 12:5-7, 9-11. 参照、エゼキエル 25:8 :

A. 酒が澱の上にとどまるとは、酒が混合であることを意味します。清い、純粋な酒を持つためには、酒を一つの器から別の器に注がなければなりません。

B. 主はわたしたちを一つの器から別の器に注いで、今日これがわたしたちに起こり、明日あれがわたしたちに起こり、わたしたちを一つの環境から別の環境に、一つの経験から別の経験に転じて、わたしたちのすべての滓がなくなり、わたしたちの味わいが失われ、わたしたちのにおいが変わるようにしています——II コリント 2:15。

C. わたしたちの環境の中で、イエスの致死力が内住の霊と協力して、わたしたちの天然の人を殺し、復活の命をもってわたしたちを再構築します。それは主の主権ある案配の下での聖霊の取り扱いであり、わたしたちの内なる人が新しくされることによって、わたしたちが日ごとに造り変えられ、からだの生活のために、命の中で王として支配するためです——ローマ 8:6, 9-10, 36. II コリント 4:10, 16-18. ローマ 5:17, 21. 12:1-2。

VII. 造り変えの過程を通して、ヤコブは神聖な命の中で円熟し、命の中で王として支配し、彼のつかむ手は祝福する手となり、彼の語ることは神の語ることになりました——5:17, 21 :

A. 造り変えられるとは、わたしたちの天然の命の中で新陳代謝的に変えられることです。円熟するとは、わたしたちを変える神聖な命で満たされることです——ヘブル 6:1 前半。

B. ヤコブのつかむ手は祝福する手となりました。祝福は命の満ちあふれです——創 47:7, 10. 48:14-16。

C. ヤコブは神で構成された人であり、神で浸透されました。こうして、彼の語ることは神の語ることであり、彼の言葉は神の言葉でした——49:1. 参照、I コリント 14:31。

D. 人を祝福することは、人を神の臨在の中にもたらし、神を恵み、愛、交わりとして人の中にもたらし、からだの生活のために、人に三一の神（父、子、霊）を享受させることです——創 14:18-19. 民 6:23-27. II コリント 13:14。